

川學叢書

第六編

團二社支店印行

172
9
707

大日本教育會叢書			
室		第	
一	二	六	一
四	三	架	六
冊	號		國

明治十九年四月七日内務省附付

緒言

一 臨本ヲ撰フハ教授ノ最モ要ナルモノナリ
 二 不若シ之ヲ誤リテ徒ラ
 三 以テ児童ヲ迷フニシテハ
 四 之ヲ厭忌スルノ念ヲ生
 五 与ニ画所ノ教授法ニ其キ
 六 スヘキヲ採リ解シ難キヲ本リ目ニ慣レタルヲ

集ノ平易簡單ナルヲ主トシテ一ニ児童ノカニ
 適セシトテ務メタリ故ニ夫ノ杜撰ニ集寫シテ
 教授法ノ順序ヲ紊リ若クハ洋版ヲ翻刻シ
 テ其精神ヲ失フノ類トハ識者自ラ其異ナ
 ル所アルコトヲ知ル可シ

一 第一編ヨリ第七編ニ至ルマテ木版ヲ用ヒ
 第八編ヨリ以下石版ヲ用ルハ初學ノモノ
 入門ノ際ハ筆ヲ使フコト堅固ニシテ明白ナ

ラシムルコトヲ習熟セシノ稍々運筆ノ自在ヲ得ルニ及シテ線條ヲシテ韻致ヲ生セシメント欲スレハナリ

一此編名称ヲ掲クルモノハ傍ラ洋語ヲ挾ミテ臨画ノ際傍ラ單語ヲ習熟セシメント欲ス是又編者ノ微意ノミ

一此編頗ル外良ヲ装フコトヲナサス專ラ簡畧ヲ主トセルハ山村僻邑ニ至ルマテ画學ノ功ヲシテ洽チカラシメント欲スレハナリ

明治十九年二月

編者識

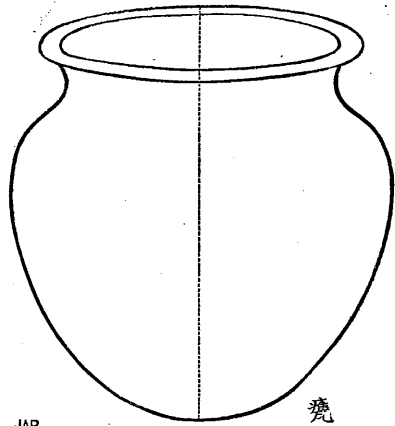
臨畫心得

画ヲ臨スルニハ須ラク原本ニ模倣シテ今毫モ違フコトアル可ラス

一画紙ハ臨本ト同状ノモノヲ用フヘシ若シ紙幅ヲシテ放
大ナシムル片ハ畧其比例ヲ同ウスヘシ但シ其大サヲ
臨本ヨリ縮小セサルコトヲ要ス

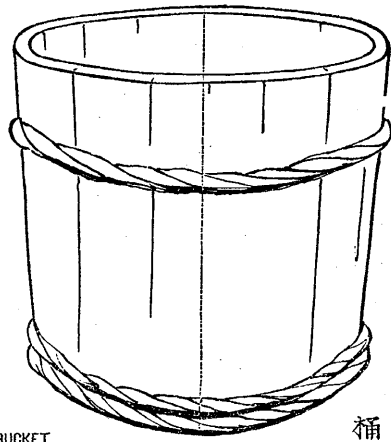
一總テ画ヲ臨スルニハ先ツ虚線ヲ以テ其位置形状ヲ
定メ次ニ大体ヲ組立ル所ノ諸線ヲ画キ而テ細小
ノ部ニ及ホス可シ然ル後彈性脂ヲ以テ一同ニ揩拭シ僅
ニ筆痕ヲ餘スヲ以テ度トナシ然ル後實線ヲ施スヘシ
一虚線ヲ画クニハ其質稍々堅硬ナル鉛筆ヲ尖銳ニシ
筆ヲ使フコト輕カラシメテ麁麵或ハ彈性脂ヲ以テ揩
拭シ易カラシム可シ

一筆ヲ下タスハ左ノ方ヨリ始メ漸次ニ右ノ下方ニ画キ終
ルヘシ然ラザレハ運筆ノ際紙面ヲ穢スニ至ル可シ



JAR

甕

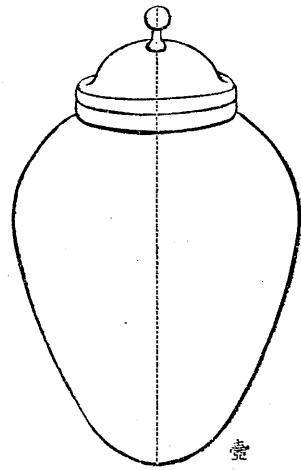


BUCKET

桶

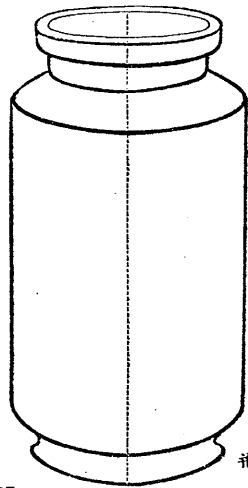
圖一第編六第

一革ヲ執ルニ直シク直立スル可シ若シ之ヲ傾ケテ
 其側辺ニ於テ画クイフナセハ線條薄弱ニシ生氣ヲ
 失フ可シ



VASE

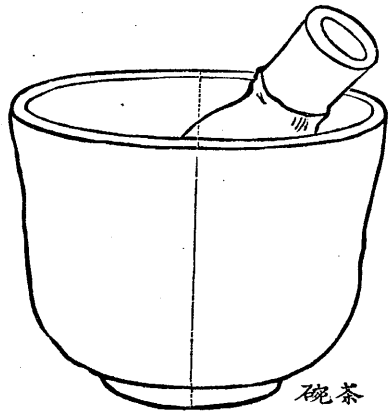
壺



瓶花

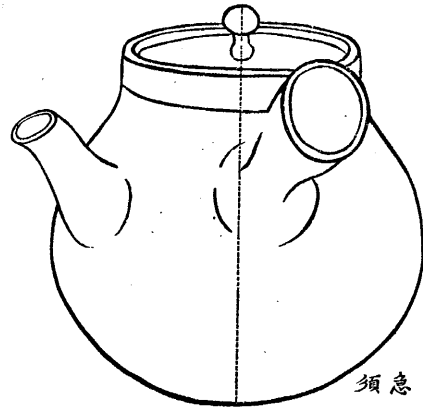
FLOWER VASE

圖二第編六第



碗茶

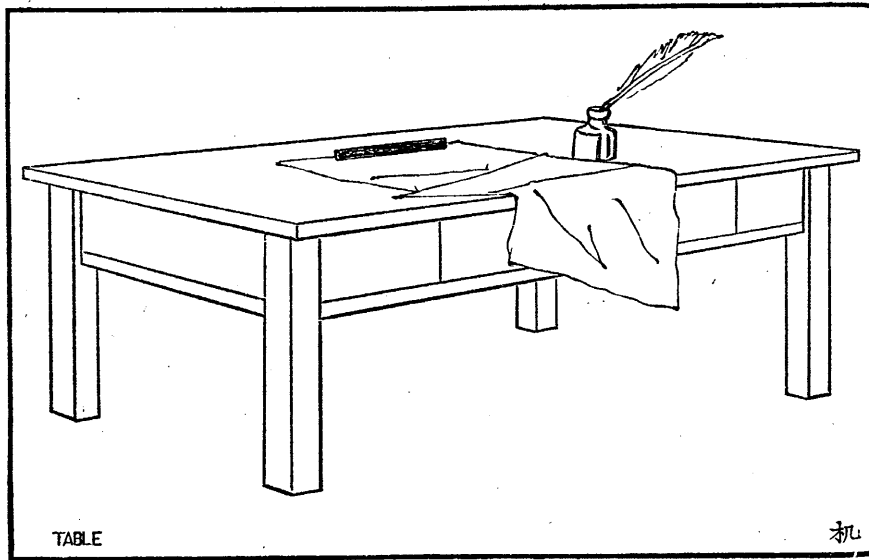
TEA_OUP



須忌

TEA_KOT

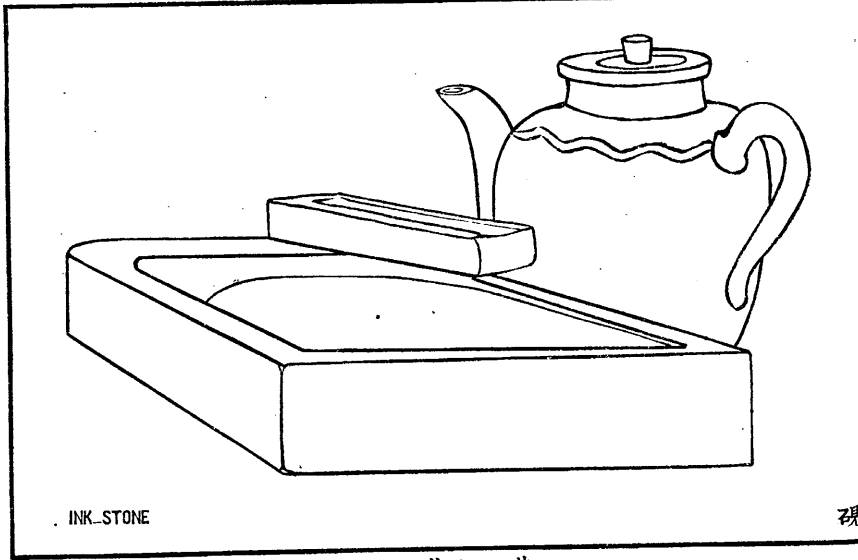
圖三第編六第



TABLE

机

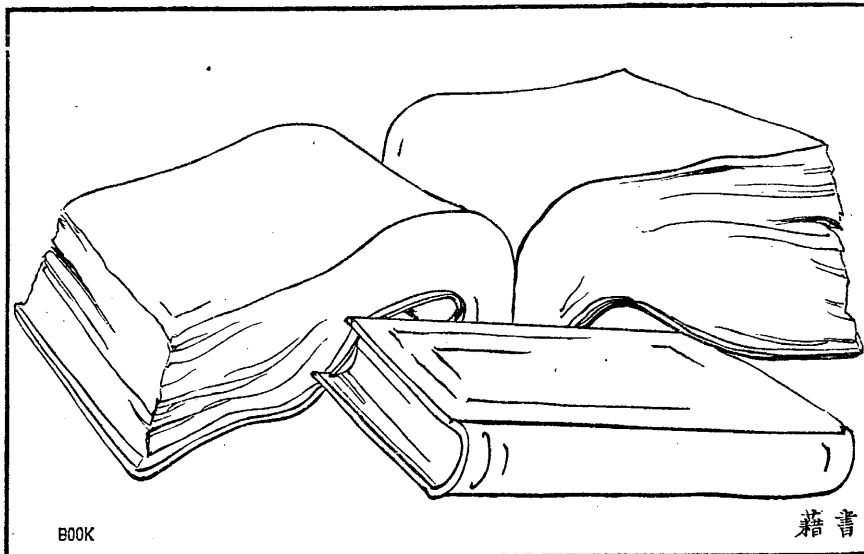
圖四第編六第



INK-STONE

砚

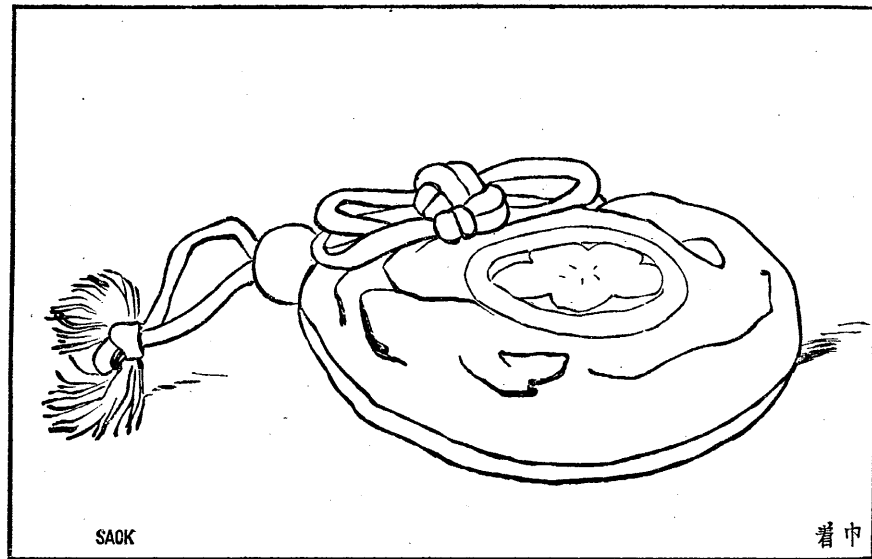
圖五第編六第



BOOK

籍書

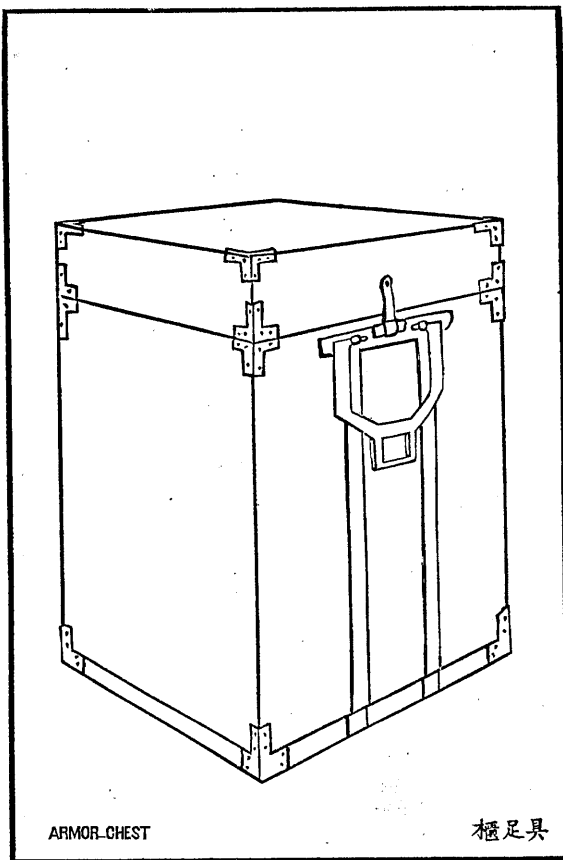
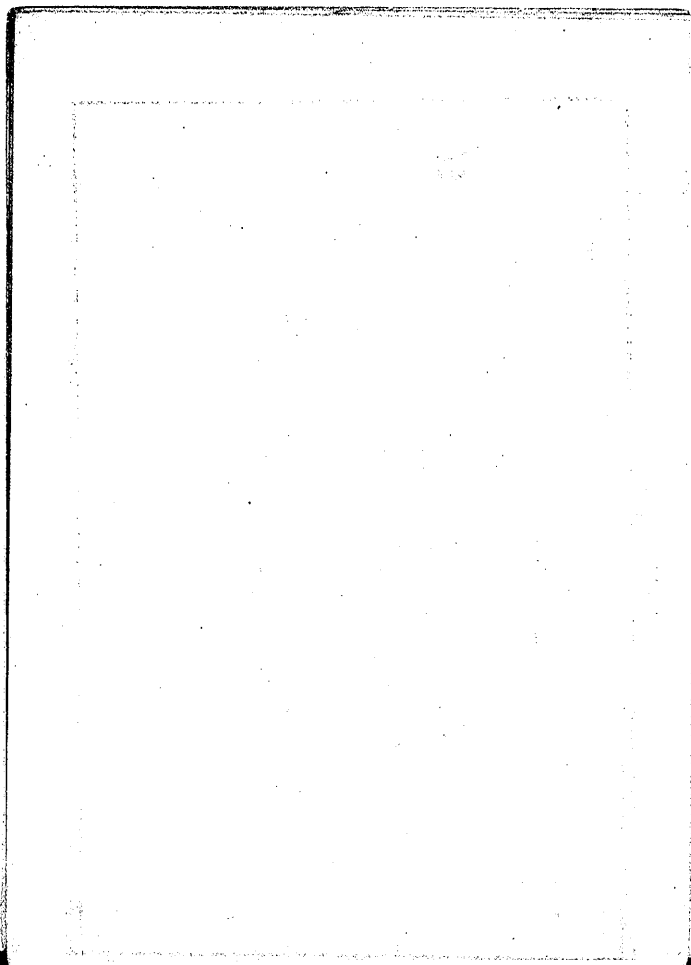
圖六第編六第



SACK

着巾

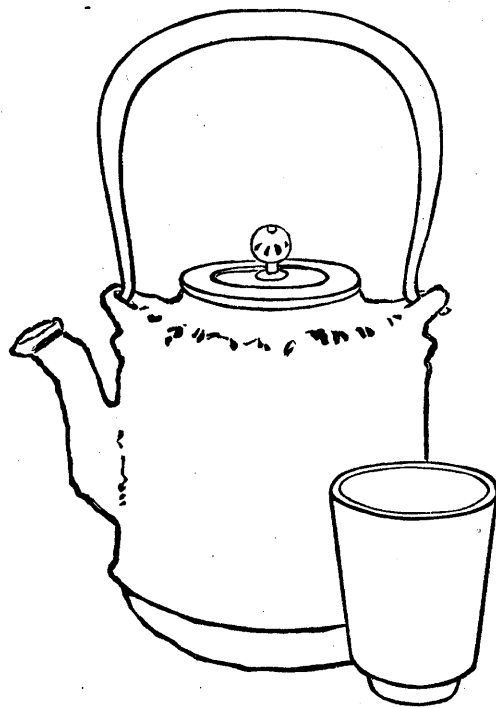
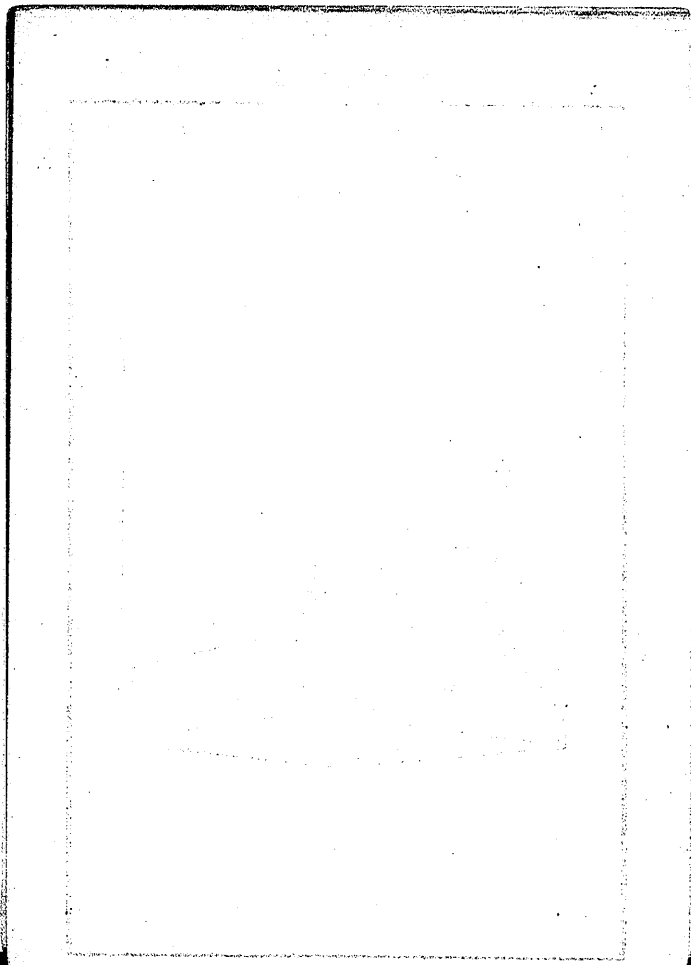
圖七第編六第



ARMOR CHEST

櫃足具

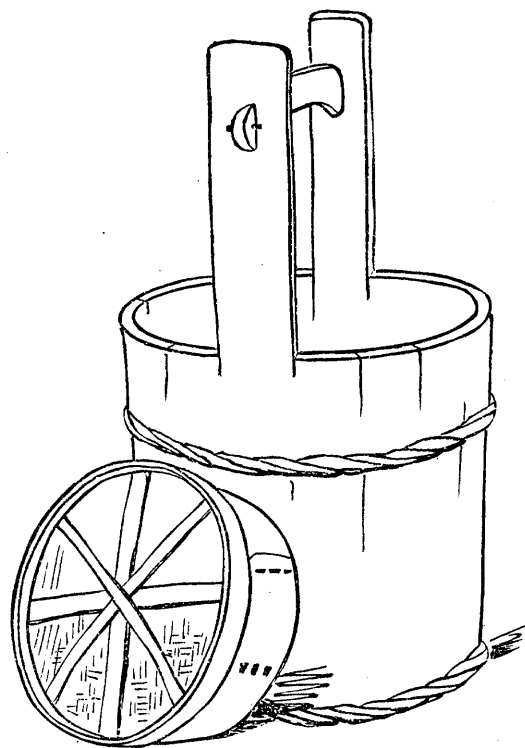
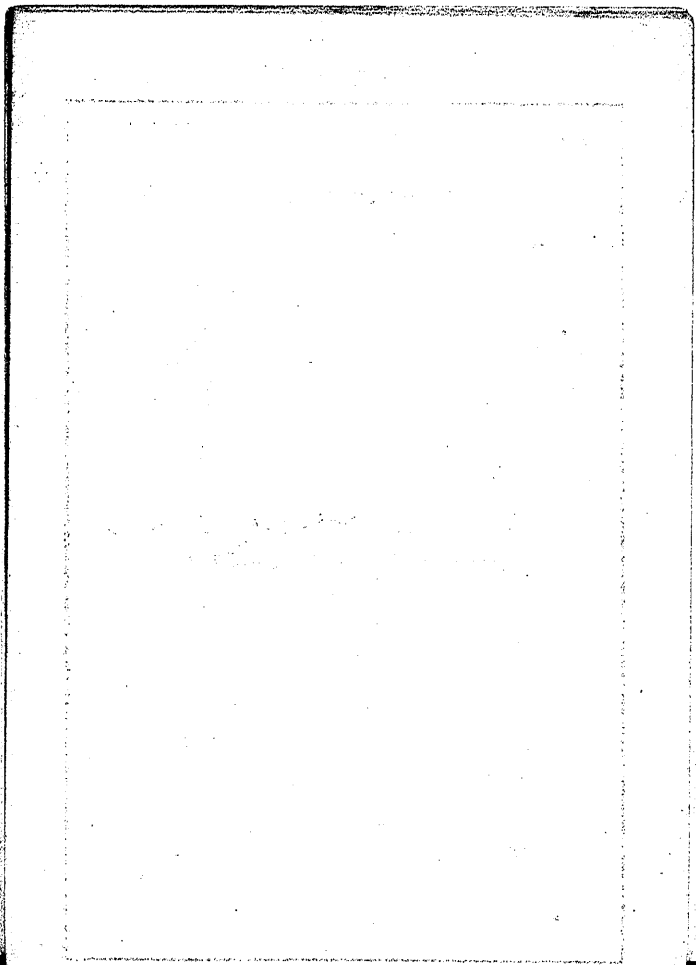
圖八第 編六第



KETTLE

瓶鑊

圖九第編六第



HAND-BUCKET

桶手

圖十第編六第

全篇目次

第一編	直線曲線及 單形	第二編	紋画
第三編	花葉前画 畧画	第四編	器具前画 畧画
第五編	家屋橋梁等 前画畧画	第六編	器具輪廓 畧画
第七編	全前	第八編	家屋橋梁等 輪廓畧画
第九編	器具施影 畧画	第十編	花卉施影 畧画
第十一編	異物施影畧画	第十二編	樹画畧画
第十三編	景色畧画	第十四編	全前
第十五編	禽獸虫魚 畧画	第十六編	人物畧画

明治十九年一月廿三日 版權免許
今 年四月 出 版

定價金三錢五厘

著者

東京府士族 本 芳 錦 吉 郎

住 込 區 新 小 川 町 二 丁目 七 番 地

出版人

全

榎 本 徹 之 助

神 田 區 雉 子 町 卅 二 番 地

